

抗 菌

抗ウイルス

- 試験のご案内 -

総合水研究所では JIS Z 2801 の抗菌性試験をはじめ、JIS L 1902 など様々な抗菌性試験や抗菌実験等を行っております。また、光触媒材料の抗ウイルス性試験方法や可視光応答型光触媒の抗ウイルス性試験方法 - バクテリオファージ QB を用いる方法なども、数多く実施いたしております。チャンバーボックスを用いた抗ウイルス試験などもいたしておりますので、お気軽にお問合せください。

総合水研究所が所持している菌株

Escherichia coli (大腸菌)	Pseudomonas syringae (Φ 6 host)
Vibrio parahaemolyticus (腸炎ビブリオ)	Bacillus subtilis (バチルス菌)
Staphylococcus aureus (黄色ブドウ球菌)	Bacillus cereus (セレウス菌)
Pseudomonas aeruginosa (緑膿菌)	Salmonella enterica (サルモネラ菌)
Moraxella osloensis (モラクセラ菌)	Brevundimonas dimimuta

総合水研究所が所持しているファージ株

Escherichia coli phage	Pseudomonas syringae phage
・ ATCC15597-B1 (MS2)	・ NBRC105899 (Φ6)
・ ATCC23631-B1	
・ NBRC103405 (Φ× 174)	

※上記以外の菌・ファージについてはお問い合わせ下さい

総合水研究所における菌・ウイルス試験実績

2021年6月16日

試験名	試験内容	使用菌・ウイルスの種類（一例）	試験対象品実績
殺菌効力試験 ウイルス不活化試験	試験対象品が細菌を殺菌するのに必要な濃度や接触時間を調べる試験	大腸菌、食中毒菌 等 MS2、QB、バチルス菌、Φ6 黄色ブドウ球菌 他	・ファインナノバブル水 ・光触媒機器・オゾン生成器 ・UV装置
細菌補足性能試験	空気又は液体ろ過用精密ろ過膜のフィルタディスク、フィルターカートリッジ及びディスパーザルフィルタの細菌補足性能を試験する方法	V.diminuta	・浄水器 ・セラミック膜
JIS Z 2801試験	プラスチック製品等の抗菌性試験方法	大腸菌 黄色ブドウ球菌	・抗菌処理製品
JIS S 3201試験 細菌除去性能試験	家庭で使用する浄水器の試験方法	V.diminuta	・浄水器
水道用膜モジュール性能試験	水道用膜モジュール規格 (AMST-001に規定する性能又はそれと同等以上を有するかどうかの性能調査)	V.diminuta	・膜モジュール
チャンバーBOXを用いた 殺菌効力試験	試験対象品が m ³ BOX内に浮遊した菌やウイルスを殺菌するのに必要な接触時間や殺菌率を調べる試験	MS 2、バチルス菌、大腸菌 黄色ブドウ球菌 等	・UV装置

※上記以外の菌・ウイルス試験についてはお問い合わせ下さい。